

登録無形文化財「書道」特別揮毫会（愛知会場）  
参加のご案内

「日本書道文化協会」は書道の伝統的な書法を受け継ぎ、未来へと継承していくため、書道の技の保存と向上を図ることを目的として2021（令和3）年8月26日に設立された団体です。

2021年6月、改正文化財保護法が施行され、新たに『登録無形文化財』の制度ができ、同年12月2日に「書道」が初の『登録無形文化財』に登録され、「日本書道文化協会」は文部科学大臣から保持団体に認定されました。このことは、日本の書道界にとって大きな朗報となりました。

本協会の正会員は「伝統的な書法の技を受け継ぎ、継承者を持つ書家」と定義されており、特別揮毫会では書家それぞれの伝統的な書法の技をご披露して皆様に体感していただくと同時に、その技を未来へと伝えていくためにどんな取り組みがなされているかをお話したいと思っております。

特別揮毫会は、全国各地で開催することを目標に、年2回のペースで実施しております。日本書道の未来を担う皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

2023年4月

日本書道文化協会 会長 井 茂 圭 洞  
副会長 黒 田 賢 一  
副会長 高 木 聖 雨  
副会長 星 弘 道

日 時 2023（令和5）年6月4日（日） 13:00～15:00  
（開場 12:00 受付時間 12:00～12:50）（受付を済ませ、開会の5分前までにはご着席ください。）

会 場 電気文化会館 5階 イベントホール

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄二丁目2番5号 TEL. 052-204-1133 FAX. 052-201-6505

■地下鉄 東山線・鶴舞線「伏見駅」4番出口より東へ徒歩2分

■広小路長島町の信号を南へ30m 右側に電気文化会館の駐車場入口あり 有料駐車場30分170円（税込）

主 催 登録無形文化財「書道」保持団体 日本書道文化協会

協 力 公益財団法人 全国書美術振興会

内容・講師紹介 舞台上での揮毫の様子は、大型スクリーンでも見るすることができます。  
（写真・動画の撮影は可能です。ただし、立ち上がったたり、席から移動したりすることはできません。）

漢字 鬼頭翔雲（きとうしょううん） かな 近藤浩乎（こんどうひろこ） 漢字/漢字かな交じり 風岡五城（かざおかごじょう）

日本書道文化協会会員  
日展会員  
轟友会副理事長  
全国書美術振興会評議員



日本書道文化協会会員  
日展会員  
玄之会理事長  
日本書芸院董事



日本書道文化協会監事  
産経国際書会理事長  
宏道書会名誉会長  
全日本書道連盟理事



参加料 無料 どなたでも無料でご参加いただけます。

参加予定定員 238名 申込先着順

申込締切日 2023年4月24日（月）

締切日前でも定員になり次第締め切ります。締め切った際には  
協会ホームページで告知いたします。特別揮毫会のその他情報も  
ホームページでご確認ください。HP <https://www.nihonshodobunka.jp/>



申込方法 事前申し込みが必要です。本チラシ裏面の申込用紙にて **FAX** でお申し込みください。  
電話・メール・用紙郵送でのお申し込みはお受けできません。  
なお、予約を承れたかどうかについては、本協会から申込代表者様宛に FAX でご回答いたします。お申し込み後1週間を過ぎても協会からの回答がない場合には、お手数ですが、主催事務局までご一報ください。